

別表二 中学校年間指導時間数

区	年			必修教科	選択教科	特別教育活動	計
	一	二	三				
学	140	175	175	国語	計	合計	1155
	175	140	140	社会			
	105	105	140	数学			
	140	140	105	理科			
	70	70	70	音楽			
	70	70	70	図画工作			
	105	105	105	保健体育			
	105	105	105	職業・家庭			
	9.10	9.10	9.10	小計			
	140	140	140	外国語			
	105	105	105	職業・家庭			
	35	35	35	その他の科			
	140	140	140	生徒一人計			
	35	35	35	ホールムム			
	35	35	35	生徒会			
35	35	35	行事				
105	105	105	小計				
1155	1155	1155	合計				

備考 職業・家庭科（必修）は特にこの表にかかわらず年間一四〇時間以上実施することが望ましい。
 1 行事の指導時間数は、教科の指導時間数に算入しない。
 2 朝会・昼食・掃除・ジョウトタイムのホーム・ルーム等の時間は、この表に示す時間数のわく外とする。
 3

別表三 学級年間計画の様式例

月別	4 月			計		
	単	元	名	間	時	
国語	予	実	過	予	実	過
	定	施	不	定	施	不
	時	時	足	時	時	足
	間	間		間	間	
	数	数		数	数	
計	予	実	過	予	実	過
	定	施	不	定	施	不
	時	時	足	時	時	足
	間	間		間	間	
	数	数		数	数	

備考 指導時間の「過不足」欄には、4月以降当該月末までの過不足の累計を記載する。

別表四 学級週計画の様式例

曜	月			火	金	土
	校	時				
1						
6						
行						
指	国	社	算	ク	行	計
	導	語	会	ラ	事	
	時					
	間					
	数					

備考 児童生徒の学習計画に役だてるため、平明に記載する

資料四

集会行事等の運営要項

一、趣旨

研究会・講習会等現職教育のための行事（以下集会行事という）の運営を改善し、もって完全授業の実施と現職教育の質的向上をはかる。

二、目標

1 集会行事の効率的運営をはかる。
 2 集会行事以外の方法による研修を活性化する。

三、集会行事の調整

1 集会行事の方針

(1) 昭和三十二年度学校教育指導上の努力事項の趣旨に於ては、当該行事の必要度を検討のうえとりあげる。
 (2) 参加者の範囲・実施内容等からみて、類似の集会行事はなるべく統合する。
 (3) 集会行事を、できるだけ年間に分散配当する。

2 行事予定表の作成

(1) 全県およびブロックの行事予定表の作成（年間ものは年度ははじめ学期間のものは、学期ははじめに作成する）（責任者主管課長）
 (2) (1)を参考とし、管内の行事予定表の作成（(1)とおなじ）（責任者各出張所長）

(3) (1)(2)を参考として、方部の行事予定表の作成（(1)とおなじ）（責任者方部校長会長）

3 行事調整打合せ会

(1) 行事予定表の各作成責任者は、各地域内関係者の参加を求め、年度はじめおよび学期ははじめに、行事調整打合せ会を行う。

(2) 行事調整打合せ会において行事予定表をたてた後に、臨時に行事を追加することは、できるだけさける。

四、集会行事の効率的運細

1 集会行事は、原則として休業日（例春季・夏季・冬季・学年末・農繁期各休業等）に実施する。

2 特に授業日に実施しなければならない集会行事については、主催者は行事調整打合せ会以前に、会場地出張所長の了解を求める。

3 集会行事への参加については、学校長は、学校運営上支障がなく、かつ実施内容が効果的であると認められる場合に限り、所属職員中適当なものを参加させる。

4 集会行事の主催者は、事前の準備・当日の運営・事後の処理等について周到な計画をたて確実な効果をあげるよう実施する。

5 参加者は、研究内容の要点を整理し、校内職員に対し、効果的な方法で伝達する。

6 集会行事は、できるだけ経費をかけないように運営する。

五、集会行事以外の方法による研修の実施

1 現職教育は、自己研修および校内研修に重点をおき、その充実につとめる。